

## 動画の作り方（撮影編）

こんにちは、松下です。

今回は、動画の作り方 撮影編 ということで、動画の撮影の仕方に  
ついて解説していきます。

このビデオを見ることによってあなたは、視聴者からちよう愛され  
るような、そんなクオリティの高い動画を撮影することができるよ  
うになりますので、ぜひ最後までご視聴いただければと思います。

それでは、張り切って参りましょう！

まず始めに、いい動画を撮るためにある注意点があります。

それは、あらかじめ撮影シナリオを作つておくということです。

多くの人達は適当に被写体を撮つて、おもしろい動画が撮れたら  
YouTubeにアップするというやり方をしていますが、そのやり方で  
すと非常に能率の悪い動画しか撮れません。

なので「どんな動画を撮れば視聴者は喜んでくれるのか」などをよ  
く考えた上で、まず始めにシナリオを作つてから動画を撮ることを  
お勧めします。

シナリオといつてもあまり難しく考えずに、例えば、自分の得意なジャンルでしたら、自分の知識を駆使してスラスラと書けると思います。

しかし、そうでない場合でも、本やインターネットなどでそのテーマについて調べれば書くことは可能です。

最近は、アマゾンなどで大量の中古本が出回っていますので、あまりお金をかけずに本を買うことができますし、それでもお金が勿体無いという人は、図書館へ行けば無料で調べることもできます。

撮影シナリオができましたら、実際に動画を撮影しますが、一口に撮影といっても方法はいくつかあります。

これから主に4つの撮影方法について解説していきますが、自分のシナリオにあった方法で撮影するといいでしょう。

まずひとつめは、自分でカメラを持って撮影するという方法です。

これは、いわゆる自分で被写体を撮るという、最もオーソドックスな撮影方法です。

2つ目は、ウェブカメラを使って撮影するという方法です。

ウェブカメラとは、パソコンに搭載されているカメラ、もしくは別売りのパソコン用のカメラのことをいいますが、パソコンに向かつて自分を撮影するのに適した方法になります。

3つ目は、アニメーションを作るという方法です。

アニメーションは、アニメーションアプリを使って作ることができます。しかし、顔を出したくないというかたはこの方法をお勧めしています。

4つ目は、パソコンの画面をキャプチャリングするという方法です。

キャプチャリングとは、パソコンの画面を専用ソフトで撮影することをいいますが、例えば、パソコン上で何かを作ったり解説したりする場面をキャプチャリングして動画にすることができます。

こちらも、顔を出したくないというかたにはお勧めの方法です。

動画のキャプチャリングの方法は、macをお使いのかたでしたら無料で搭載されている「クイックタイム」というアプリでキャプチャリングが可能で、Windowsをお使いのかたでしたら「A G デスクトップレコーダー」というアプリでキャプチャリングが可能になります。

使い方に関しては、下にある別の動画で詳しく解説していますので、そちらをご覧ください。

以上が、4つの撮影方法になりますが、ここで最もオーソドックスな「カメラで被写体を撮影する」という方法について、さらに詳しく解説したいと思います。

カメラで撮影する方法には、次の4つのポイントがあります。

まずひとつ目が、動画を撮影するカメラですが、最初は専用のものを用意しなくても携帯やスマホのカメラでも十分に撮影はできます。

最初は気軽に動画を撮って投稿することから始めてみましょう。

撮影に慣れてくると、機材にもこだわりたくなると思いますが、ビデオカメラや照明などは、それから購入すればいいと思います。

次に2つ目のポイントですが、キレイな動画を撮るには手ブレを無くすことが非常に重要となります。

どんなにいい被写体を撮ったとしても、手ブレをしていたらそれで台無しになります。

手ブレを防ぐための最も良い方法は、撮影をするときに三脚を使うことです。

使える状況であれば、できるだけ三脚を使ってカメラを固定して撮影することをお勧めします。

ただし、どうしても三脚が使えない場合は、カメラを両手で持って脇をしっかりと締めながら撮影すると、手ブレのないキレイな動画を撮ることができます。

また、どこかに寄り掛かれるものがあれば、できるだけ寄りかかりながら撮影すると、さらに良いでしょう。

次に3つ目のポイントですが、カメラの機能はできるだけ使わずにシンプルに撮影するということです。

カメラは高価になればなるほど、色々な機能がついています。

なので、つい使いたくなるものですが、慣れないうちはできるだけ機能は使わないで、自然のままに撮影したほうがキレイな動画を撮ることができます。

ズームなどの機能もできるだけ使わずに、被写体にカメラを近づけるほうがキレイな動画を撮ることができます。

カメラの設定に関しては、下にある別の動画で詳しく解説しているので、そちらを参考にしてください。

次に4つ目のポイントですが、マイクをできるだけ接続して撮影してください。

動画というのは、画質ももちろん大事になりますが、音質も非常に大事になります。

特に屋外で撮影をする場合は、風などの雑音が入りやすいので、必ずピンマイクなどのマイクを接続して撮影することをお勧めします。

マイクに関しては、下にある別の動画で詳しく解説しているので、そちらを参考にしてください。

以上が、動画の撮影方法について解説しましたが、いかがだったでしょうか？

最近YouTubeでは、クオリティの高いライバル動画がどんどん増えているので、いくら動画の内容が面白かったとしても、クオリティの低い動画しか撮ることができないと、視聴回数をなかなか伸ばすことができません。

なので、まずは「キレイで見やすいクオリティの高い動画を撮る」ということから始めてください。

このことは、今やYouTubeでは基本中の基本になりますので、ぜひ覚えておいてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。